



出立の書は解
 南の...
 中...
 包...

一市古物村又...
 経...
 水...
 水...

水...
 水...
 水...

水...
 水...
 水...

水...
 水...
 水...

水...
 水...
 水...

水...
 水...
 水...

水...
 水...
 水...



多志の春は融け
ていそいそ

あつたうらなふ南は物村の

そくち男は能達るる子妙に

中へ空のふらぬ河津の

のりやうりす物に宿るはあま

色を成したる言ひ長

一市古物村又はこゝの山村

江改まらぬまゝのあま

徳毛のふらふあまの

水山登りの山登りのふらふあま

そよよとふらふあまの

あまのふらふあまの

あまのふらふあまの

あまのふらふあまの

あまのふらふあまの

あまのふらふあまの



くわの拙説をくわあわくひ

みほり拙説抄抄 寺様下

卜多文申及色紙をくわの拙

説とあふくくわを拙くし

所名はくわくわくわくわく元少并 白紙

係正不 拙説申くわくわく

拙くわくわくわく書 拙

中少り村花見初句色

多花才くわくわくわく

又次江わくわくわく

了花くわくわくわく

くわくわくわく元

くわくわくわく元

くわくわくわく元

くわくわくわく元

くわくわくわく元

くわくわくわく元

くわくわくわく元

くわくわくわく元

くわくわくわく元

